



八峰町6月議会定例会

町長の行政報告を お知らせします

八峰町6月議会定例会が6月12日から6月14日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、当初予算、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

防災訓練

この訓練は、41年前の5月26日に発生した「日本海中部地震」の大惨事を教訓に毎年、同時期に実施しております。

今年は浜田地区を会場に、秋田県沿岸に「大津波警報」が発令されたという想定で実施したほか、「火災防ぎょ訓練」も併せて行いました。

今後、関係機関と連携し、日本海中部地震の記憶や教訓が風化しないよう努めるとともに、町民の安全安心の確保に向け、防災力の維持・向上に努めてまいります。



行政協力員会議

5月2日に春の行政協力員会議を開催し、会議では、新たに行政協力員となった3名の方々に委嘱状を交付したのち、今年度の町の主要事業を説明して、ご理解とご協力をお願いいたしました。

今後は、協力員の皆様から提案のあった意見を町政に反映できるよう、取り組みを進めてまいります。

定住促進住宅事業

民間事業者との連携により、旧峰浜庁舎跡地を活用して住居環境を整備する「定住促進住宅事業」の地鎮祭ならびに安全祈願祭が5月15日に行われ、町からは私と皆川議長をはじめ、山本副議長、菊地総務民生常任委員長、笠原教育産業建設常任委員長、水木議会運営委員長が出席し、工事関係者ならびに駅前町内会の関係者の方々と工事の安全を祈願いたしました。

建物の完成は、12月頃の見込みとなっており、今後は、関係条例等の整備や入居者の募集を進めてまいります。

八峰能代沖洋上風力発電事業

再エネ海域利用法に基づく洋上風力発電事業の一般海域の第2ラウンドにおいて、本町および能代市沖の海域が選定されておりますが、3月下旬に事業者が「合同会社八峰能代沖洋上風力」に決定されました。

事業者の構成メンバーは、ENEO S（エネオス）リニューアブル・エナジー株式会社、イベルドロローラ・リニューアブルズ・ジャパン株式会社、東北電力株式会社の3社であります。事業計画の概要については、着床式洋上風力発電設備で、出力は、1万5

千キロワットの風車25基分となっております。運転開始予定時期は令和11年6月となっております。

本事業に係る環境影響評価準備書の縦覧開始は本年7月中を予定しており、縦覧場所は本町役場と能代市役所のほか、エネオスリニューアブルエナジーのホームページでも実施することとしており、本準備書に関する説明会についても本町と能代市でそれぞれ1回ずつ開催する予定と伺っております。

また、私からは、事業実施に当たり、地域住民をはじめ、漁業関係者等への説明を丁寧に行うよう、事業者へお願いしたところであります。

八峰町学校適正化検討委員会

教育委員会では、出生数の減少や少子化の加速により、小中学校の児童生徒数が今後も減少傾向にあることから、八峰町学校適正化検討委員会を設置し、小中学校の適正規模および適正配置のあり方について諮問いたしました。

委員には町議会や学校の代表者など16名を委嘱し、5月24日にファガスにおいて1回目の検討委員会を開催したところであります。

会議では「今後の児童生徒数の推移をみると、統合するか、しないかの議論は必要がなく、できるだけ早く小中学校の統合を進めるべきである」「小学校だけでなく中学校も含めた学校のあり方について検討するべきである」「少子化が進んでいるが、町民への周知や理

6月議会定例会に 提出した主な議案

八峰町家庭的保育事業等の設備 および運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例制 定について

八峰町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

物品の取得について

● 小型動力ポンプ積載車

工事請負契約の締結について

● 町道目名瀧大沢線道路改良工事契約締結

八峰町農業委員会委員の任命について

令和6年度八峰町一般会計補正予算5千391万1千円を増額追加した主な歳出
人事異動に伴う人件費の組み替えのほか、新型コロナウイルスワクチン事業費の追加など

令和6年度各特別会計補正予算
● 後期高齢者医療特別会計補正予算

11万3千円を増額

● 八峰町営診療所

53万3千円を増額

令和6年度各事業会計補正予算
● 簡易水道事業

収益的支出から254万9千円を減額

● 下水道事業

収益的支出に435万8千円を増額

あぜ道巡回相談

水稻の健苗育成と適正管理を図るため、4月25日に実施したところであります。

水稻農家12名のほか、山本地域振興局や秋田やまもと農協が、播種日等の確認と苗の状況を確認し、今後の施肥の時期等について、指導を行っております。

生育状況については、全てのハウスにおいて順調に生育していたと伺っております。

また、田植え作業については、ほぼ終了し、今後は秋の収穫に向けて、振興局や農協と協力しながら、品質管理などの指導を行っております。

本年産の水稻作付面積については、農家から提出された確認野帳を集計したところ、昨年の豪雨災害の影響で作付が出来ない場合も一部ありますが、全体としては前年実績とほぼ横ばいと

白神育ち 輝サーモン

昨年12月28日に重さ約800グラムの稚魚1,500尾を生け簀に入れ、約5ヶ月の養殖期間を経て、4月26日から順次、水揚げを行ったところであります。

今年の生存率は、92・7パーセントと、昨年の約60パーセントを大きく上回る結果となっております。生け簀を改良したことや自動給餌装置の導入が大きく影響しているものと考えられます。養殖事業は、漁獲量の減少や燃料高騰で苦境に立つ漁業者の収入確保、担い手不足解消等へ繋がるものと期待が寄せられていることから、町としても出来る限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

「白神山地八峰町ルート安全祈願祭」と「山開き式典」

当日は、皆川議長をはじめ、多くの関係者からご臨席を賜り、一年間の無事故を祈願いたしました。

また、今年度は初めてオープニングセレモニーとして、和楽器奏者の安藤兄弟による記念演奏会を行ったところ

であります。その後の自然観察会は「町道白神二ツ森線」が災害復旧工事により通行止めとなっており、昨年度同様「留山」を会場に行いましたが、横手市や大仙市など県内各地から10名の参加があり、参加された皆さんは白神ガイドの説明を熱心に聞きながら、新緑のブナの森を満喫しておりました。

スポーツ少年団活動

5月25日から本町にて開催されました、高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球秋田県大会山本郡予選に、八峰グロリーズが出場しました。

1回戦を大勝で勝ち上がり、勢いそのままに決勝戦もコールドゲームで勝利し、3年連続の優勝を飾ったところであります。

地域に元氣と希望を与えてくれました選手ならびに関係者の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

6月22日から潟上市を会場に行われる全県大会においても、予選大会で見た堅守と猛打を発揮し、さらに活躍されますよう期待しております。

